

「日興スリートップ(隔月分配型)」先週の基準価額の動きについて

〔値動きについて〕

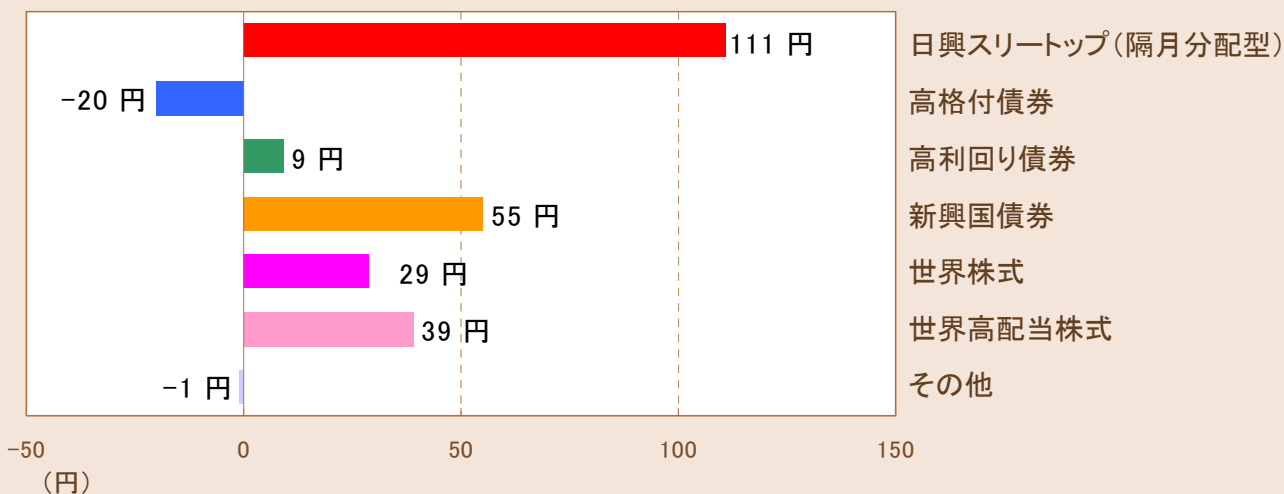
2008年10月24日(金)から10月31日(金)にかけて、「日興スリートップ(隔月分配型)」の基準価額は、5,697円から5,808円へと111円値上がりしました。

〔各投資対象資産の貢献度〕

先週は、信用不安の後退により世界の株式市場や新興国債券市場は上昇しました。一方、先進国債券市場は、株式の上昇により債券に対する需要が後退したことなどから軟調に推移しました。

以上のことから、高格付債券を除く全ての資産がプラスに寄与し、「日興スリートップ(隔月分配型)」の基準価額は111円値上がりしました。

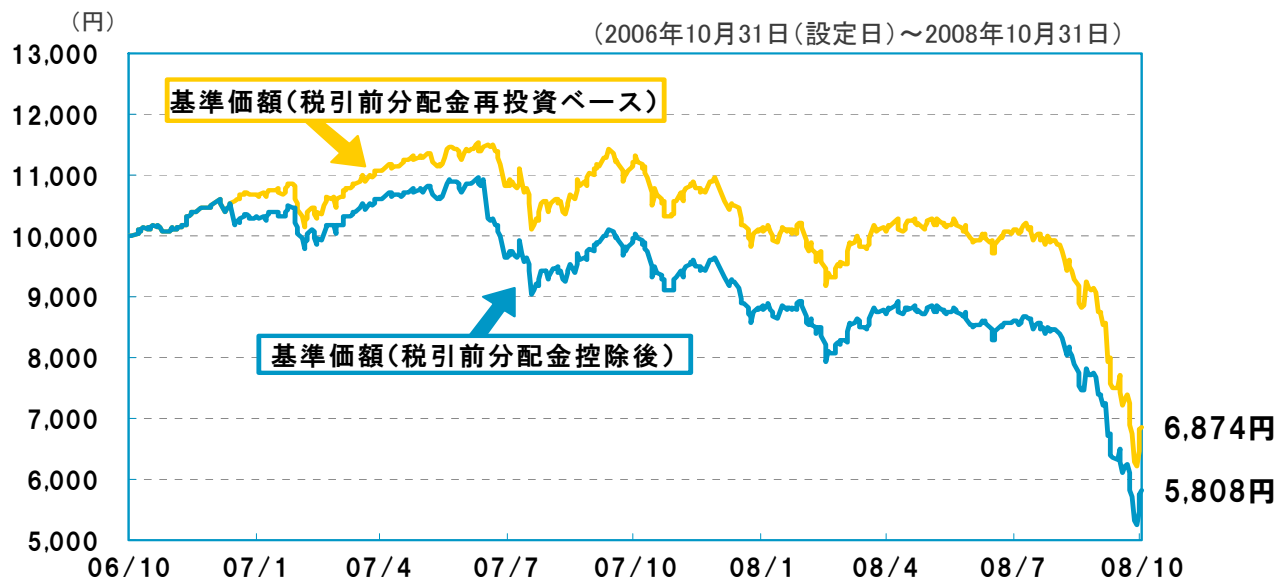
基準価額の変動と各投資対象資産の貢献度



※上記要因分解の各数値は四捨五入して表示していますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

- グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
- 「日興スリートップ(隔月分配型)」の基準価額は、信託報酬(年率1.39965%(税抜1.333%))控除後の1万口当たりの値です。
- 各投資対象資産の貢献度は、各投資対象ファンドの騰落率と投資割合を考慮し、簡便計算したものです。実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。
- 各投資対象資産の貢献度には、原則として2008年10月23日より10月30日までの各市場の動きが反映されています。
- 各投資対象資産の貢献度には、当該期間中の為替レートの変動が反映されています。
- 上記グラフ中「その他」には、ファンドを運営するための費用などを含まれます。

設定来の基準価額の推移



設定来の分配実績 (税引前、1万口当たり)

| | 安定分配 相当額 | ボーナス 分配*額 |
|----------------|-------------|--------------|
| 第2期(2007年 1月) | 70円 | 300円 |
| 第3期(2007年 3月) | 70円 | |
| 第4期(2007年 5月) | 70円 | |
| 第5期(2007年 7月) | 70円 | 600円 |
| 第6期(2007年 9月) | 70円 | |
| 第7期(2007年11月) | 70円 | |
| 第8期(2008年 1月) | 70円 | - |
| 第9期(2008年 3月) | 70円 | |
| 第10期(2008年 5月) | 70円 | |
| 第11期(2008年 7月) | 70円 | - |
| 第12期(2008年 9月) | 70円 | |
| 設定来合計 | 1,670円 | |

※ グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※ 基準価額は信託報酬(年率1.39965%(税抜1.333%))控除後の1万口あたりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

※ 投資成果は当ファンドの基準価額の水準によって大きく変動します。よって左記は将来の分配金の支払いを約束するものではありません。

* ボーナス分配とは、毎年1月および7月の決算時に基準価額の水準等を勘案して安定分配相当額に付加される分配金を指します。基準価額水準などによっては、ボーナス分配を行わない場合もあります。

ファンドの特長

1. 世界の債券および株式に幅広く分散投資を行ない、収益の源泉を分散するとともに、高水準のインカムを追求します。
2. 隔月(奇数月、原則15日)に安定的な分配を行なうことをめざします。また、毎年1月および7月の決算時には隔月の安定分配相当額に加え、値上がり益などを原資として、ボーナス分配を行なうことをめざします。
3. 各資産の運用については、各分野において世界屈指のマネージャーを選抜しました。

お申込メモ

- 商品分類 : 追加型証券投資信託／ファンド・オブ・ファンズ／自動けいぞく投資適用
- お申込単位 : <分配金再投資コース>
(新規申込)10万円以上1円単位 (追加申込)1万円以上1円単位
- お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
- お申込不可日 : 取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。
詳しくは、日興コーディアル証券にお問い合わせください。
- 信託期間 : 無期限 (平成18年10月31日設定)
- 決算日 : 年6回。奇数月(1月、3月、5月、7月、9月、11月)の各15日 (休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。また、毎年1月および7月の決算時には基準価額水準などを勘案し、上記安定分配相当額のほか、委託会社が決定する額を付加して分配を行なう場合があります。
なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
※原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。再投資を停止し、分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。分配金のお受取りをご希望される場合、日興コーディアル証券の定める所定の日よりお支払いいたします。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。
詳しくは、日興コーディアル証券にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。
※詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- お申込手数料 : お申込手数料率は、お申込金額に応じて以下のように変わります。
1億円未満……………3.150% (税抜3.00%)
1億円以上5億円未満……1.5750% (税抜1.50%)
5億円以上10億円未満……0.7875% (税抜0.75%)
10億円以上……………0.5250% (税抜0.50%)

換金手数料 : ありません。

信託財産留保額 : ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく (ファンドから支払われる) 費用>

信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.39965% (税抜1.333%) を乗じて得た額

その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

委託会社、その他関係法人






- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
- 投資顧問会社 : 日興グローバルラップ株式会社 (投資助言) 、 キャピタル・インターナショナル株式会社
JPモルガン・アセット・マネジメント(UK)リミテッド、ピムコジャパンリミテッド
- 受託会社 : 日興シティ信託銀行株式会社
- 販売会社 : 日興コーディアル証券株式会社

お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

- ・当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に株式および債券など値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の債券は、先進国の債券に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

| | |
|--|--|
| <p>価格変動リスク</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。 ・一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。 |
| <p>流動性リスク</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。 ・一般に新興国の債券は、先進国の債券と比較して、市場規模や取引量が少ないため、相対的に流動性リスクが高いと考えられます。 |
| <p>信用リスク</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。 ・一般に公社債および短期金融資産にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格は下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。 |
| <p>為替変動リスク</p>  | <p>外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。</p> |
| <p>カントリー・リスク</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・投資対象国である新興国における非常事態など（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。 ・情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。 |

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

○その他の留意事項

- ・当資料は、日興アセットマネジメントが「日興スリートップ(隔月分配型)」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めさせていただくために作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、日興コーディアル証券より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
 加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 | | 登録番号 | 加入協会 | | |
|----------------|----------|-----------------|---------|----------------|--------------|
| | | | 日本証券業協会 | (社)日本証券投資顧問業協会 | (社)金融先物取引業協会 |
| 日興コーディアル証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第129号 | ○ | ○ | ○ |

以上